

市議会だより

12月定例会 一般質問

● 9人の議員が市政について質問しました。
● 主な内容については次のとおりです。

鈴木 規子 議員

3町との合併効果は

問 県知事に申請した「やっつてよかったと言える合併」とは何ですか。
答 非常に大きな合併効果を見込んでいます。行政改革ができます。

問 9月には、「10年間で効果はそれほど上がらない」と、言っていたのと矛盾しませんか。
答 合併して、「すぐよくなるとは言っていない」と、言っただけです。合併後、目に見えて、この地域がよくなることは難しいです。

問 9月には「人件費の見込みが甘かった」と、言っていますが、何が甘か

ったのですか、合併後10年間でどの程度削減できるのですか。

答 平成20年から32年までに19億8千万円削減、250人の削減です。

問 合併後10年間の削減数をお聞きしています。既に減っている職員数を入れてごまかさないうで下さい。

答 170人程度の見込みです。

問 平成20年度76億円だった物件費は下がると言っていたのが、合併直後から上がりっぱなしですがなぜですか。

答 広域連合と3町消防組合で9億円が加わるためです。

問 合併後はそれらが物件費に加わることは、データをつくる前に、分らなかったのですか。

答 分かっていました。

問 市民には正確な説明をして下さい。

目に見えてよくなるのは難しいと言いつながら、合併経費は多大了。市長は責任をとって、給料を半減しませんか。
答 その考えはありません。

新西尾市の職員配置について

問 今まで対応できていたものができなくなつて、市民サービスの低下をきたすことはありませんか。

答 市民の利用の多い下水道課やごみ減量課は、隣接の水道庁舎なのでサービス低下にはならないと思います。

問 本庁に来る3町職員の机やイス、パソコンを新規購入するのですか。
答 210人分を考えています。

問 170人減る見込みなら新たに買う必要はなく、今使っているものを使うのが行革の精神ではありませんか。
答 そのような考えで進めていきます。

問 増員議員用の机とイスは1台当たり幾らですか。これらも新調せず、広域連合のものを移動して使うべきではありませんか。

答 1セット約60万円です。これも検討し、経費削減に努めます。

合併後の公共施設の維持管理・運営について

問 3町には老朽化や耐震補強など、すぐ対策が必要な施設がありますか。

答 緊急の物はないが、老朽化した物があり、来年度、公共施設対策プロジェクトチームを創設して考えます。

問 更に考えを進めて、少子高齢化、将来人口の変化も踏まえ、公共施設の整備・統合等の方全体を「施設マネジメント」として検討しませんか。
答 大変重要な課題であり、検討していきたいと考えています。

大竹 忍 議員

教育環境及び学力向上について

問 西尾市の小中学校は2期制で幡豆那3町の3学期制と異なります。合併後、いつまでに調整しますか。
答 西尾市が取り組んできた2期制についての評価はどのようですか。

答 新市の学校教育の全体的な均衡を図るため、来年度中に方針を定め、合併後3年をめどに統一を図ります。

2期制は、学校行事の見直しや授業時間の確保ができ、長時間にわたる観察や指導をもとにした評価が可能となりました。夏休み等の部活動の指導や教育相談、進路指導にじっくりと取り組むことができ、「時間のゆとり、心のゆとり」が生まれました。しかし、前期と後期が近いため気持ちの切り替えが難しい点、特に中学校において生徒の学習の様子を知る機会が減るとの不安の声が一部保護者にあります。

問 西尾市の学校給食は自校調理方式で実施され、評価も高く、合併後も自校調理方式で推進しませんか。

答 西尾市では当分の間、自校調理方式で実施していきます。

問 健常児、障がい児に対して、教育環境の違いはありませんか。

答 合併に伴う教育環境の変化への対応は、子どもや保護者の立場に立って考えていきます。

小学校の部活動は、2年間を調整期間とし、西尾市の例に統一します。

個別指導が必要な児童に対しても、県の加配教員に加え、市独自の臨時職員を配置し、対応していきます。

問 「計算科」「ことば科」等を新市の小・中学校で導入し、学力向上に向けた全市的な取り組みをしませんか。

答 他市における実践を参考に、特色ある取り組みをしていきます。

問 教育委員会の主要政策や教育効果について「教育新聞」を発行して市民に周知を図りませんか。

また、「教育広報」を発行し、教育活動の情報を提供しませんか。

答 「広報にしお」を活用するなど効果的な周知方法について、検討します。

「教育広報」は、多くの市民に教育に関する情報を提供できる方法の一つと考えますので、検討します。

空き家及び空き地等の適正管理について

問 空き家や空き地等が放置され管理不十分になると、犯罪や不審火を招くことになりかねません。西尾市の管理状況はどのようですか。

答 西尾市火災予防条例の規定に基づき、年1回調査、指導をしています。

また、管理不良状態の空き地で住民の通報があった場合、市が所有者に雑草等除去するよう指導しています。

問 生活環境の保全と防犯のまちづくりのために、正当な理由もなく市の指導、助言に従わないときは、必要な措置を講ずることができる「空き家、空き地等の適正管理に関する条例」を「新市総合計画」の中で、協議し、制定しませんか。

答 今後、安全・安心なまちづくりを考える中で検討します。

神谷 庄二 議員

新西尾市の更なる発展のために

(1)市民病院の将来展望について

問 病院施設は確実に老朽化します。いずれ改築の時期を迎えます。そのためには大きな事業費200億円が必要となり、その半分の100億円をすぐに準備できることはありません。耐用年数の20年で100億円積み立てるとすれば、毎年5億円必要です。更に病院への繰り出しが10億円ありますが、いずれ改築なり、大リニューアルをしなければなりません、どのようにしますか。

答 20年先の市民病院の有り様がどのようであるか、どうしたらよいのか、現時点では見通せていません。

地域住民の健康を守るためには、質のよい医療を提供しなければなりません。そのために病院は不可欠であり、現行体制のまま存続するというのであれば、基金の積み立ては将来必要と考えています。

新西尾市の更なる発展のために

(2)財政の要の企業誘致について

問 西尾市は、他市以上の優遇政策をとっても、上場企業の進出がない理由は何が考えられますか。

答 西尾市には、高速道路とJR駅がないため、アクセス重視の企業には魅

力度が低い、また人材についても大学がないため企業が希望する従業員の募集も難しい。更に都心までの距離も長く、進出に適した規模の用地確保が難しいこと等です。

問 現在の景気の中で、企業を誘致するには、他市と同じことを行うだけでは立地条件の悪い西尾市には企業の進出がありません。構造改革特別区域や固定資産税の免除期間の3年から5年延長も、法人市民税の軽減もすべてダメで、職員の熱意だけでは進出はありません。ある程度のアメを出さなければ、この西尾市には進出してこないと思います。いかがですか。

答 企業立地に対して、西尾市は他市に負けない制度をもっています。

他市では、たとえば土地購入時に、その用地費の一部を負担する自治体もありますが、財源の問題もありますので、新市の総合計画の中で検討します。

新西尾市の更なる発展のために

(3)広域連合構想について

問 広域内で重複する公共施設の統廃合、観光、幹線道路網やJR線など相互の補完が重要と思うがどうですか。

答 少子高齢化社会となった現代、生活に必要な施設を1つの自治体ですべて完備するより、広域的に整備することが重要と考えます。

問 近隣市との役割分担と連携をどの様に進めますか。

答 観光面では岡崎市・蒲郡市・幸田町・幡豆郡3町と共に三河観光ネットワーク協議会を組織し、利用客の誘致に努めています。

病院では、近隣市町の連携はもとより、将来的には公立病院の統合は良質な医療を継続的に提供できると考えます。ゴミ焼却施設は、第2次愛知県ごみ焼却処理広域化計画に基づき、岡崎市・西尾市・幡豆郡3町・幸田町を岡崎西尾のブロック単位で集約して、焼却施設の整備などを進めます。

問 新西尾市が中心となり、枠組みについても、関係市町に提案しませんか。

答 新西尾市として新たな広域連携を見据え、周辺自治体の考えを聞きながら相談をしていきます。

広中 利臣 議員

里海創生と釣り療法等について

問 子どもと共に生態系の変遷をモニタリングできる人工干潟を設置したり、生き物がすみやすくなる里海の研究を進めて、藻場造成事業等のプロジェクトチームを設置して、里海を創生するシンポジウムを開催しませんか。

また、生活療法士や釣りアドバイザ

ーを育成して釣り療法の研究を進め、学校で魚拓等釣り文化を紹介する企画展や、環境に優しい釣り具（エコタックル）の、展示会を開催して広報などで周知し、釣り公園を整備しませんか。

答 生活療法士や釣りアドバイザーの育成や釣り療法の研究と釣り公園は考えていませんが、あとは研究検討します。



海釣り公園

指導教員とNIE（新聞活用学習）等について

問 発達障がい児などで読みが困難な児童生徒のためのデিজィー教科書を配備し、生活保護世帯等の高校進学をサポートする無料の学習教室を設置し、特定の教科や分野に深く専門的に教えるピーク制を導入して、教科の指導教員を配置し、生き字引き職員を養成して、総合窓口を設置しませんか。

また、ゲーム要素を取り入れたアニメーションを体系化するマニュアル作成とNIE（新聞活用学習）で新聞記者

に学校で講義を要請するなど連携を取り、新聞記事収集と編集の指導ボランティアを育成しませんか。

答 総合窓口とマニュアル化は考えていませんが、あとは研究検討します。

猛暑対策等について

問 保育園・幼稚園や小・中学校の冷房設備の設置を推進し、高齢者や低所得者等を対象にエアコン設置補助制度を創設し、エアコンにハイブリッドファンを設置しませんか。

答 保育園や幼稚園は計画的に進めませんが、小・中学校の教室は天井扇風機の設置を進め、ハイブリッドファンも含め研究を進めますが、補助は考えていません。

問 地域づくりや環境対策に連動して新規に開業する中小企業などに雇用おこし助成事業と新卒未就業者、臨時職員や倒産、閉鎖企業の失業者を雇う企業商店に助成制度を設置しませんか。

答 研究します。

問 人工内耳の音声信号処理装置（スピーチプロセッサ）の買い替えに助成しませんか。

答 事例を参考に研究します。

問 スポーツごみ拾いを開催し、顕彰制度を設けませんか。

答 ボランティア団体の自主的な考え方で意識高揚を図ります。

プロボノ等について

問 プロボノ（良き公共のために）活動の拠点を設置して支援しませんか。

答 にしお市民活動センターを活用していただき、支援を検討します。

問 信号のないロータリー型交差点（ラウンドアバウト）を設置しませんか。

答 研究します。

牧野 勝子 議員

心身にハンディのある児童・生徒の支援について

問 市内の小・中学生のうち、岡崎聾学校に7人、岡崎養護学校に12人、安城養護学校に44人、大府の養護学校に1人の計64人が通学しています。その通学手段と通学距離、通学時間はどのようですか。

答 通学手段について、安城養護学校及び岡崎養護学校に通う生徒の殆どがスクールバスです。ただし、岡崎養護学校では、小学1年生は保護者による送迎、岡崎聾学校では、小学3年生まで保護者による送迎、4年生以上は公共交通を利用して1人で通学すること

また、ゲーム要素を取り入れたアニメーションを体系化するマニュアル作成とNIE（新聞活用学習）で新聞記者

になっています。大府養護学校は入院して学習しています。

通学距離と所要時間は、安城養護学校までは約10分、寺津で乗車する場合で50分、岡崎養護学校までは約30分、憩の農園前から乗車する場合で70分程かかります。岡崎養護学校までは約20分、自動車で45分程、西尾駅から電車やバスを利用した場合は55分程かかることとなります。

問 心身にハンディがある児童・生徒が、それゆえに長い通学距離、時間を余儀なくされている現状をどう思いますか。

答 子どもたちの状態、能力に応じた専門的な教育を受けるためとはいえ、障がいの子どものたちにとって養護学校への遠距離通学は身体的にも大きな負担であり、また送迎に当たる保護者にとっても同様であることは理解しています。

問 岡崎養護学校の小学1年生は、原則親の責任で送迎することです。その場合、授業時間が短いと親はそのまま待っている場合もあるとのこと。子どもは1人とは限らず、他に子どもがいれば手が掛かることもあり、ハンディのある1人の子どもの多く時間を拘束されることを、どのように考えますか。

答 岡崎養護学校の小学1年生は保護者による送迎となっています。しかし、

片道1時間程度かかる送迎が、子どもや保護者にとって、かなりの負担となっていることは認識しています。

問 市内に養護学校ができれば、子どもたちの進学先の選択肢も広がります。市内に養護学校を建設すべきではありませんか。

答 昨年10月、重複の障がいのある子どもたちが通うことのできる特別支援学校の早期建設を求める要望書が、6千人を超える署名と共に提出されました。

また、11月に請願書も提出されています。特別支援学校の建設については、新市における教育課題と考えています。

幼稚園・保育園のクーラー設置について

問 幼稚園・保育園の空調機の設置状況はどのようですか。また、設置見込みとその期限はどの様ですか。

答 幼稚園・保育園の空調機の設置状況については、概ね乳児室から3歳児室までは付けていますが、4歳児以上の保育室や遊戯室等は未設置の部屋が多くあります。

今夏の猛暑は、今年だけが例外ではないと思われしますので、早急に設置できるよう努力していきます。

市営住宅のトイレの水洗化について

問 西尾市の市営住宅のうち3団地が水洗化されています。西三河9市はどのようですか。

答 西三河4市は、すべて水洗化されています。

稲垣 昌利 議員

新市基本計画における新市の課題について

問 多様な地域資源を活用した地域の魅力づくりを進めるにあたり、どのような構想をお考えですか。

答 多様な地域資源を活用して、「活力と魅力あふれる産業づくり」を進めます。また、周辺整備を進めて、広域的に集客できる魅力的な地域づくりを行う「観光交流圏づくり」を推進します。

問 交流を支える交通ネットワークの整備が不可欠ですが、当面の課題は何ですか。

答 利便性の高い公共交通ネットワークの形成及び幹線道路網の整備が課題であるとされており、名鉄西尾・蒲郡線の利用促進を始めとして、路線バス・コミュニティバス・渡船などの公共交

通の維持・利便性の向上を図るとともに、中部国際空港や高速道路へのアクセス強化、名浜道路の建設促進と名豊道路の4車線化整備促進を働きかけていきます。

問 自立したまちづくりをしていくには、「官」と「民」の役割分担の明確化が必要です。行政の関与が不要な廃止すべき事業、または、行政の関与が必要であっても、直接、公務員が従事する必要がなく、民間開放が可能な事業を明確化して、コストの削減や効率化を図っていくべきではありませんか。

答 一つの手段として事業仕分けが有効であると考えており、来年度の夏までに実施し、結果を平成24年度の当初予算に反映させたいと考えています。

また、行政改革推進委員会を設置し、市民目線でコストの削減及び行政の効率化を図っていきます。

問 合併が生み出す可能性と多様性の大きさを表す融合ビッグバンで未来を創るべく、現在愛知県が誘致に前向きである「国際園芸博覧会」の開催地に名乗りを挙げませんか。

答 いわゆる「花博」の誘致に対する愛知県の動向については、非常に大きな関心を持って注目しています。当市はもとも、花きの生産が盛んで、県下でも有数の産地であり、一色町は日本一のカーネーションの産地でもあります。新市基本計画では「観光交流圏

づくり」を掲げ、農業や漁業などの地域資源を活かした観光産業の振興を推進しよう」と計画しています。

新市には、愛知こども国など広大な県有地が所在していますので、その有効活用と併せて、国際園芸博覧会への働きかけをしていきます。

愛知県下で開催されることになれば、当市こそ最適地であると認識しています。この地で開催されることになれば、国の内外に向けて新西尾市を力強く情報発信することも、地域住民の連携と我がまちに対する愛着や誇りを再認識することができる絶好の機会であると考えており、是非とも三河湾の中心である、この地域での開催に名乗りを挙げていきたいと思えます。

問 花博誘致は、観光交流圏の醸成、交通インフラ整備、自立したまちづくり、企業誘致の面でも前向きに課題を解決していく事が可能な有効な手法であると考えますがいかがですか。

答 国際規模の博覧会に市を挙げて取り組む姿勢は、様々な分野において波及効果が見込まれ、地域振興にとって有効な手法の1つであると考えています。

吉見 弘志 議員

西尾市・幡豆郡の合併について

問 合併に向けて、各市・町の住民の意識の温度差がかなり縮まっていると思いますが、現時点ではどのようですか。

答 これまでの経過や今後のスケジュールについては、温度差はなく、一定の理解を頂いていると思っています。今後は、来年2月予定の合併に関するガイドブックの全戸配布及び説明会の開催等で、さらに身近な事柄をお知らせし、合併時に混乱することのないように準備していきます。

問 今後は、法定人口20万人以上の特別市を目指しませんか。

答 合併は相手のあることです。少子高齢化社会への対応や農業・工業・商業、更には観光との連携による産業の振興など地域の活性化が重要であり、近隣の市・町との話し合いや意向を聞きながら、当地域にとって最適な規模を検討していきます。

問 新市基本計画の中に、土地利用イメージ図があります。その中に主要幹線として名豊道路・西三河南北道路・名浜道路・衣浦岡崎線がありますが、現在の進捗状況及び完成予定はいつごろですか。

答 名豊道路で、現在4車線化工事が行われている知立バイパスについては平成24年末までに安城西尾インターまでが開通目標と聞いています。西三河南北道路は、都市計画道路安

城一色線として位置づけ、一部の区間の供用開始を始め、現在、愛知県において下町及び上町地内の県道蒲郡碧南線から県道米津碧南線の間、約1・3^{キロ}の区間を事業化に向けて、準備を進めています。

名浜道路は、平成18年度末に碧南市・幸田町間、約21^{キロ}が国土交通省の調査区間に指定、その後の道路関係予算の削減等で整備区間への移行が大変厳しい状況になっています。

衣浦岡崎線は、衣浦海底トンネルから寺津大明神までの4車線化工事も平成22年度中に完成、岡崎市内の未整備区間約3・6^{キロ}も、平成23年度末には工事完了、全線の供用開始を目標にしています。

矢作川分派堰^{せき}について

問 現在の矢作古川分派堰^{せき}構想はどのようなのですか。

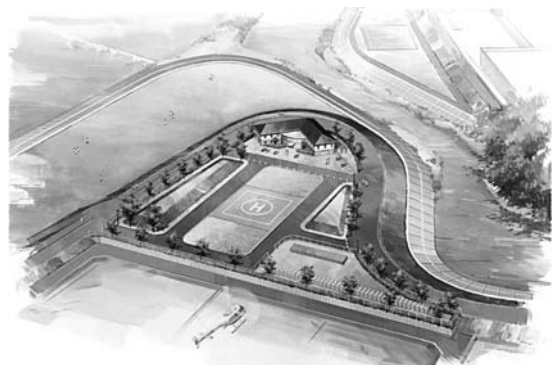
答 矢作川の河川改修は、平成21年7月に策定された『矢作川水系河川整備計画』に基づき、国土交通省が整備を進めています。分派堰^{せき}は、下流本川河道整備が完了の後に建設するものとし、分派量を毎秒2百立方メートルとする計画で検討が進められています。

土地改良事業^{ちとくかいりょうじぎょう}について

問 国営新矢作川用水事業の事業内容、事業費負担及び工事の進捗状況はどのようなのですか。

答 昭和40年代に築造され老朽化している矢作川の改修事業として、羽布タムの取水施設・細川頭首工・鹿栗川頭首工・幹線水路57^{キロ}を改修する事業を平成6年度に事業着手し、平成23年度完了予定です。

総事業費の見込み額は、平成22年度末現在で、約704億6百万円。事業費の負担割合は、国が約67%、県が約27%、市町と農家で約6%となっています。



矢作川分岐点(上矢作川、右矢作古川)の(仮称・河川防災ステーション)予想図

安藤 好実 議員

合併後の行政施策について

問 西尾市の道路アクセス問題として衣浦岡崎線や環状線、西尾幡豆線、安城一色線、岡崎一色線などの主要アクセス道路の計画と進捗状況はどのようになっていますか。

答 進捗状況については、名豊道路は国土交通省の直轄事業として現在、安城西尾インターまでの知立バイパスの4車線化工事が行われており、平成24年度末の開通を目指しています。

都市計画道路安城一色線は、愛知県において県道蒲郡碧南線から米津碧南線までの1・3^号区間の事業化に向けて準備を進めています。

県道西尾幸田線は、今年度末4車線化が完了する寺津大明神の国道247号線から衣浦岡崎線までの区間の4車線化を実施しています。

県道西尾幡豆線は、吉良町友国の交差点より西尾吉良線の間で整備を実施しています。

問 篠島、日間賀島のように多くの人が来島し、食事や宿泊をすることで発展を図るべきです。現在、佐久島は一色港からのみの航路となっています。そのため、名古屋方面からのアクセスの良い河和港などと結ぶ航路を検討

していく考えはありませんか。

答 一色港以外での佐久島への航路が可能となれば、さらなる活性化に繋がりますので、合併後においては貴重な意見を参考としながら、航路を始めとして、あらゆる手だてと収支の調査を検討します。

ボランティアの活用について

問 行政等の施設では、ごみ拾いなどのボランティアが活躍していますが、市民意識のさらなるアップを図るためにも合併を契機に、市の予算を有効利用していくためにもペンキ塗りや電球の取替えなどに現物を支給して、修繕を行う勤労奉仕制度を検討しませんか。

答 地域の公園などは、地域の皆さんのボランティア活動による管理を、お願いしたいと考えています。これからは市民との協働は大変大切であると認識しています。勤労奉仕制度については、円滑に対応できるよう予算確保を含めて合併後に新市として検討します。

牧野 次郎 議員

合併で何が良くなり、悪くなる

問 「合併時までに調整する」とした

協定項目の調整状況はどのようですか。

答 残っていた19項目すべて調整が済みしました。平成23年2月の説明会は合併前後で変更される事項や手続きなどを説明しますが、幡豆郡の皆様が中心で、幡豆郡3町の会場で計画しています。

問 西尾市民に、サービス低下や負担が増加するものはありますか。

答 粗大ごみ個別回収費、中学生海外派遣事業で負担が増加し、図書館の開館時間が変わります。

問 町内会・老人会などの補助金で、西尾市と三町の区域により差異が生じるものはありますか。

答 12種類の補助金で差異が生じ、統一まで時間を要することになります。

問 各種団体の統合の状況はどのようですか。

答 公共的団体48団体中、平成23年度に統合予定は26団体、率で54%です。

問 合併の目的は「経常的経費を抑制して、少子・高齢化などの行政需要に対応するため」と言われてきましたが、具体的に、子育てや高齢者福祉で充実される事業はありますか。

答 今後検討します。

問 平成23年度予算編成は、1市3町がそれぞれ調整・査定した予算を統合

するとのことですが、投資的経費などで自治体間のバランスがとられるような配慮はされますか。また、合併前後で比較できる資料を作成されませんか。

答 投資的経費は予算編成中で分かりませんが、合併前後を比較できる資料は検討します。

名鉄に市税の投入大丈夫

問 半期で42億円を超える純利益を出している名鉄が、西尾線（新安城駅吉良吉田駅間）のうち、西尾駅吉良吉田駅間だけを切り離して赤字を強調し、廃止をほめめかす主張には道理があるとお考えですか。

答 西尾線は新安城駅以南ということ議論したいと何度も申し上げたが、聞き入れられませんでした。

問 名鉄に3年間で7億5千万円の財政支援は、鉄道利用者の増進策に使われるのでしょうか。

答 名鉄に要望していません。

問 平成25年度以後の路線存続については不明のままです。どのような状況なら「廃止検討路線」の対象から外すのか明らかにしておくべきではありませんか。

答 大変重要な問題なので、明らかにするように名鉄に求めてまいります。



12月定例会で可決された議案

※ 西尾市副市長に神谷祥氏を選任することに同意しました。



★西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	地域手当の支給割合を引き下げするため、改正するものです。
★西尾市使用料及び手数料条例の一部を改正する条例の制定について	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部を改正する政令が公布、施行されたことにより、関係部分の手料を改定するため、改正するものです。
★西尾市道路占用料条例の一部を改正する条例の制定について	道路法に規定する道路に係る占用料を改定するため、改正するものです。
★西尾市漁港管理条例の一部を改正する条例の制定について	漁港に係る使用料を改定するため、改正するものです。
★西尾市準用河川占用料条例の一部を改正する条例の制定について	河川法の規定を準用する河川に係る流水占用料等を改定するため、改正するものです。
★西尾市法定外公共用物の管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	道路法が適用されない道路に係る占用料等を改定するため、改正するものです。
★西尾市地区計画の区域内における建築物制限条例の一部を改正する条例の制定について	都市計画区域が再編され、都市計画の名称が変更されたため、改正するものです。
★指定管理者の指定について	総合福祉センター、老人デイサービスセンター、勤労会館、寺津漁港利用調整施設、西尾公園（総合グラウンド・テニスコート）、西尾駅東広場駐車場、中央児童館、総合体育館、鶴城体育館、市民運動広場、資料館、歴史公園及び文化会館の指定管理者を指定するためのものです。
★西尾市、幡豆郡一色町、同郡吉良町及び同郡幡豆町の廃置分合に伴う町及び字の区域の設定について	幡豆郡一色町、同郡吉良町及び同郡幡豆町を西尾市に編入することに伴い、新たに町字の区域を設定するためのものです。
★平成 22 年度 12 月補正予算	一般会計（第 3・4 号）・国民健康保険特別会計（第 3・4 号）・公共下水道事業特別会計（第 3 号）・農業集落排水事業特別会計（第 2 号）・介護保険特別会計（第 2・3 号）の補正予算。

議会テレビ中継のお知らせ(予定)
放送日
2月16日(水) 2月15日 施政方針演説
3月1日(火) 2月28日 施政方針に対する質問
3月3日(木) 3月2日 一般質問
3月14日(月) 3月4日 一般質問
ケーブルテレビ「キャッチ」
16CH(デジタル 107CH)で放映
【放送開始時間】2月16日の施政方針演説は、
7時～12時・16時
3月1日・3日・14日は、いずれも18時～です。
インターネットで議会を見てみよう
西尾市議会ホームページから
アクセスできます。ぜひご覧ください

3月定例会市議会
開催予定のお知らせ
2月15日(火) 本会 議
(施政方針演説・当初予算を除く議案上程)
17日(木) 厚生教育委員会
18日(金) 経済建設委員会
21日(月) 企画総務委員会
28日(月) 本会 議
(施政方針に対する質問・当初予算上程)
3月2日(水) 本会議(一般質問)
4日(金) 本会議(一般質問)
7日(月) 経済建設委員会
9日(水) 厚生教育委員会
10日(木) 企画総務委員会
22日(火) 本会 議
開会時間は午前10時です。
※本会議は議場
※委員会第一委員会室
日程は変更になる場合もありますので、
傍聴の際は議会事務局まで問い合わせ
てください。

12月定例会に出された陳情書

★「子ども手当」見直しを要望する陳情書	西尾市中畑町前山61—1 高須忠弘 他1人	趣旨採択
★日韓併合百年 菅首相談話に抗議する陳情書	西尾市中畑町前山61—1 高須忠弘 他1人	不採択
★国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	幡豆郡吉良町大字上横須賀字八王子10 都築かおり	趣旨採択
★愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	幡豆郡吉良町大字上横須賀字八王子10 都築かおり	趣旨採択
★保育制度改革に関する意見書提出を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町9—7 愛知保育団体連絡協議会 会長 加藤哲雄	不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	名古屋市熱田区沢下町9—7 労働会館東館3階301 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 徳田秋	不採択
★公共事業を防災・生活関連予算に転換し国道1号・国道23号名豊道路の国による整備・管理について意見書提出を求める陳情書	名古屋市瑞穂区鍵田町2—30 中部地方整備局名古屋国道事務所内 国土交通省全建設労働組合東海地方本部 名古屋国道支部長 笠根亮一	不採択
★TPP交渉参加反対に関する陳情書	西尾市寄住町下田15 西三河農業協同組合 代表理事組合長 倉内巖	継続審査

11月臨時会で可決された議案

★西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	議会の議員の期末手当の支給月数の引き下げのため、改正するものです。
★西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	市長等特別職で常勤のものの期末手当の支給月数の引き下げのため、改正するものです。
★西尾市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	人事院勧告に基づき、市職員の期末勤勉手当の支給月数を引き下げのため、改正するものです。

編集室

幕末の志士吉田松陰の言葉に「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に功なし、故に夢なき者に成功なし」というものがあります。

大小にかかわらず夢や理想を持って何事にも取り組まなければならないと思います。西尾市は、平成23年4月1日に一色町、吉良町、幡豆町と合併し、新しい「西尾市」が誕生します。

地域のことは地域で決める。地域主権が叫ばれる中、自主的な合併を進めて地域力を高めようとしている西尾市は、愛知県内に留まらず、全国的に見ても積極的な地域であります。

新西尾市から、愛知を元気にする。そして国に依存するのではなく、この国を支え動かす、そのような西尾にしていきたいと思っております。

西尾市・幡豆郡の豊富な観光資源を活かし、「地域力を高めての地域主権」、「選択と集中による財政再建」、「多様な観光資源を活かした観光交流圏づくり」、「安全で安心して暮らせるまち」など、活気に満ちた魅力ある新市のまちづくりを進めたいと思っております。

議会だより編集委員

◎ 中村 行男 ○ 稲垣 昌利
鈴木 亨 吉見 弘志
高野 邦良 長谷川 敏廣
大竹 忍 牧野 勝子

西尾市議会議会だより編集委員会
電話 54-561211
FAX 54-0311

■ホームページ (<http://gikai.city.nishio.aichi.jp/kaigiroku/>) で、本会議、委員会の会議録（質問者、答弁者のすべての内容）が閲覧できます。